

# 海の声

地域の皆様と保護者の皆様とわたしたち「チーム御所浦」で「瞳 きらきら 心 ぴかぴか」な子どもたち、夢を笑顔で語れる子どもたちを育てていきたい。

天草市立御所浦小学校 学校通信 No.16  
文責 木場 正敏 令和5年1月13日

令和5年が始まりました。あけましておめでとうございます。  
今年も御所浦小並びに御所っ子をよろしく願います。

R5年、そして3学期が始まりました。今年（今学期）もよろしく願います。さて、卯年は飛躍の年でもあるそうです。子どもたち、先生方一人一人が更にJUMP UPできるよう、「チーム御所浦」としてしっかり取り組んでいきます。変わらぬご支援をよろしく願います。

さて、1月10日の始業式では、3つのことを話をしました。

1つ目は、『①「失敗をおそれない」 ②「チャレンジする」 ③「がんばることを続ける」の3つを意識して50日間を過ごしてほしい。』ということ。

2つ目は、「もっと学校でも、地域でも、家庭でもすてきなあいさつができる御所っ子になってほしい。」ということ。

3つ目は、学習が充実する3学期にして、次の学年のステップアップにしていこうということ。です。

特に、あいさつについては、大切にしたいと思っています。上期の保護者の皆様からいただいた学校評価でも、「あいさつ・言葉遣い」の項目は平均3.13ポイント(4段階評価MAX4ポイント)と他の項目より低い数値でした。PTAあいさつ運動の感想でも「朝から子どもたちの大きな声と明るい元気なあいさつでたくさんパワーをいただきました。」「子どもたちの元気なあいさつに朝からとても嬉しい気持ちになりました。」などお褒めの言葉も多かったのですが、「大きな声であいさつができればいいなあ。」「朝はみんな元気がなく、挨拶の声が小さかったです。」などのお声もいただきました。3学期、学級で、委員会で、あらゆる機会に「なぜあいさつが必要なのか」「どんなあいさつがいいのか」を考えていくことが、一人一人の「あいさつ名人」につながると考え取り組んでいきます。

あいさつは家庭教育の大きな要素でもあります。新聞報道では、『家庭であいさつができて子どもは「満足度」「自己肯定感」が高まる』という調査結果も載っていました。「学校で」、「家庭で」のあいさつが「地域でも」につながります。

## ICTの効果的な活用について

日本教育工学協会に「学校情報化優良校」に認定されました。学校情報化優良校とは、『教育の情報化に総合的に取り組み、情報化によって教育の質の向上を実現している学校を、日本教育工学協会が認定しているものです。天草市で5校目の認定となります。』

1人1台のタブレット端末を、授業の様々な場面で思考のツールとして活用をしています。

今後も、御所浦小学校では、ICTを活用した児童一人一人が分かりやすい授業づくりや情報モラル教育の充実を図っていきます。



1年 デジタル教科書



5年 図形の求積説明



3年 ポジショニング



4年 実験を動画撮影



ま マスク

つけるとき、はずすときを  
かんがえよう。

か かんき

くきの流れをつくってよご  
れたくきをおいだそう！

し しょうどく

すみずみまでしっかりと。

て てあらい

あわをしっかりとたてて、手  
のシワまであらおう。



現在、県内を見まわしても年末年始にかけて新型コロナウイルス感染症の感染状況が拡大し、県リスクレベルは現在レベル3となっています。学校では、上記に示した保健衛生合い言葉「マスクの着用」「教室等の換気」「手指の消毒」「手洗いの励行」など従来の感染対策を引き続き行っています。加えて、集会などをリモートで行ったり、集まる人数を制限したり、教科の活動内容によっては、実施を見合わせたり、感染リスクが低い活動となるように活動内容自体を変更したりするなどの対策を行っています。また、保健面のご心配などありましたら、気軽に学校にご相談ください。



学校HPもほぼ毎日更新しています。  
子どもたちの学校の様子をお伝えしています。是非ご覧ください。  
<https://es.higo.ed.jp/goshoura/>